

戦略をデザイン

メセナアワード優秀賞など受賞



株式会社アオーネットコーポレーション
代表取締役社長 服部 信治 氏

都心部でマンション開発を手掛けるアオーネットコーポレーション（千代田区）。専有部（BtoB）をメインとする独自の不動産開発を展開、アートを取り込んだオリジナル性の高い商品を提供している。2017年にメセナアワード優秀賞を、18年には全国住宅産業協会の第8回優良事業表彰優良事業員を受賞した。同社の事業展開などについて、代表取締役社長の服部信治氏に聞いた。

服部 信治 氏

「ビジネスモデルについて伺います。」

「わが社は、マンションの物件を1棟ごと販売する専有部の手法で業績を伸ばしてきました。近年は、スタッフを増やし自社売りのファミリー向けマンション、建て売りなども扱っている」

マンションに「アート」を

を教えてください。
「立地条件は東京都心のおよそ環状8号線内で駅から徒歩10分以内。また、建物の外観には時代に左右されにくいモダンデザインを採用。先進性や斬新さといった概念を取り入れている」

「物件を引き渡した後、定期的

に入居者アンケートを実施し、エンドユーザーのニーズを徹底的に分析している。特に要望が多いのが収納スペースだ。そこで、ワンルームにウォークインクローゼットを設けたり、廊下や洗濯機の上部といった空間を活用することで、専有面積を狭くすることなく収納スペースを確保している。他にもオリジナル

の浴室を開発し、従来の1014サイズの浴室とほぼ同じ大きさながら、浴槽を縦置きとすることで、身長185センチの人でも足が伸ばせる浴槽を標準化している」

「アートへのこだわりも感じます。」
「マンションが建つエリアの歴史や環境を踏まえ、エントランスにオリジナルの彫刻や絵を飾っている。日本のマンションは便利、機能的で使い勝手が良いものの、遊び・ゆとりがない。エントランスを「ミニ美術館」とすることで、住まう人が誇りに思え、自慢できる、そんなマンションにしたい」

「全住協の第8回優良事業表彰優良事業員を受賞されました。」

ームマンションを設けている」

「1棟内で分譲と賃貸を混合すると、分譲マンションを検討しているユーザーが購入をためらうケースがあるが、この物件では東京メトロ丸ノ内線などが乗り入れる中野坂上駅から徒歩2分という立地と、ワンルームも高い賃料をとり、高級物件とすることで販売は順調に進んだ」

「メセナアワード受賞について。」
「教育機関で彫刻を学ぶ学生はたくさんいるが、卒業後も制作を続ける人はごくわずか。プロとして活動を続けるには資金が必要だし、設置する場所や制作しても作品を買ってもらえるチャンスが少ない」

「そこで、自社の建物に彫刻などを設置する活動を知ってもらおうと、学生が夢を語るようになるのではないかと考えた。」

（佐藤有一）